

平成30年度九州森林管理局林野公共事業評価技術検討会
(平成31年度新規採択事業に係る事前評価)
議事概要

1. 日 時 平成31年2月26日(火) 13:25~14:25
2. 場 所 九州森林管理局 4階 第2会議室
3. 出席者 技術検討会委員 藤掛委員長、寺岡委員、黒川委員
九州森林管理局 森林整備部長、企画調整課長、治山課長、森林整備課長、
専門官(災害調整担当)、監査官、監査係長
4. 議 題 森林整備事業(森林環境保全整備事業)
緑川森林計画区、大分北部森林計画区、五ヶ瀬川森林計画区、南薩森林計画区
5. 議事概要

(専門官(災害調整担当)より事前評価実施地区一覧表及び個表等について説明、その後に質疑応答)

(委員)

南薩森林計画区の木材生産等便益の木材市場価格について、木材利用増進便益は間伐だから間伐だけで良いのか。生産確保・増進便益(森林整備による増進分)は人工林主伐材、木材利用増進便益は間伐材、生産確保・増進便益(路網整備による増進分)のところは主伐材、間伐材となっており、同じ価格であるが良いのか。

(九州局)

市場価格はすべて4mの丸太の単価で算出しており、便益によって主伐と間伐に分かれている。

(委員)

路網整備事業では改良と新設では便益が分けられるが、改良の木材利用増進便益は間伐が進むからか。間伐だけでなく主伐もあると思うが、実際どのような改良なのか。フォワーダ道を林道にしたりするものか。

(九州局)

改良はほとんどが舗装であり、舗装することで間伐材に限らず木材の流通とかトラックの通行が向上するというので便益に上がっている。フォワーダ道を林道にするのは新設となる。

(委員)

土砂流出防止便益の年間浸食土砂量の「浸食」と大分北部森林計画区個表の事業概要・目的の「浸食」の漢字について、治山分野では通常「侵食」を使用している。土砂流出防止便益の方は、マニュアルにおいて文献をそのまま引用しているのであればしかたないが、事業概要・目的の方は、「侵食」に修正すべき。

(委員)

路網整備を新設した場合の便益の考え方としては、路網を整備したことによって森林整備が進んだことにより、洪水防止便益、流域貯水便益が向上するわけだが、便益の算出方法は、ただ対象面積一体に掛けているのか。それともこまかく整備できる面積を対象にしているのか。

(九州局)

林道を作ったことにより、流域一体が整備できるという考えではなく、整備される林道周辺の対象森林を算出して便益を求めている。

(委員)

開設後、年数が経つと維持管理費が上がってくるのではないか。そのため後の方で大きい金額があがっているが、実情と合っているのか。

(九州局)

維持管理費の計算は、過去の事業費の実績の方から算出している。

(委員)

九州局での実績か。

(九州局)

署の実績から算出している。

(委員)

改良のB/Cは1を少し上回る程度であるが、改良による効果は舗装したところから上流区域が対象なのか。

(九州局)

改良は区域によって決まるため、対象区域の中から人工林で施業する箇所を抽出している。

(委員)

炭素固定便益ではスギ、ヒノキ以外はないのか。海岸とかでクロマツとかはないのか。

(九州局)

造林事業として植林するものを想定している。九州局では人工林の更新は主としてスギヒノキである。海岸のクロマツなどの植栽は治山工事で実施している。

(委員)

植物中の炭素含有量率が0.5とあるが針葉樹0.51ではないか。環境省のデータでは針葉樹0.51になっていると思うが、昔は0.5だったが0.51に変わっているので少しだけ増えるのではないか。マニュアルが更新されていないのか。更新した方が良いのではないか。

(九州局)

林野庁のマニュアルでは植物中の炭素含有量率0.5としている。

(委員)

この事業計画は、国有林の地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画と連動、一致しているのか。また、この事業評価で認められて計画に乗せることができるのか。

(九州局)

地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画は現在策定中であり、個表に記載されている事業内容は計画の事業内容と一致している。この検討会で妥当性が認められた後に策定されることになる。

(委員)

個表の事業概要・目的の中で、29万m³の木材生産を計画するとあるが、何年間でと記載したほうがよいのではないか。

(九州局)

5年間で29万m³と変更する。

(委員)

平成30年度事前評価実施地区一覧表のB/C、チェックリストの必須事項は全て○、優先配慮事項はA又はBとなっていますが、ご意見等ありませんでしょうか。

(委員)

異議なし。

(委員長)

検討会の意見について「費用便益分析結果、森林・林業情勢その他社会経済情勢の変化、また、森林整備を行うことで公益的機能の発揮と木材生産等を通じた地域振興への寄与が発揮されていることから、事業の実施が妥当である」としてとりまとめてよろしいか。

(委員)

異議なし。

以上